

2 環 委 第 4 号
令和2年12月18日

愛媛県知事 中 村 時 広 様

伊方原子力発電所環境安全管理委員会
会 長 田 中 英 樹

伊方原子力発電所環境安全管理委員会の審議結果について（報告）

このことについて、伊方原子力発電所環境安全管理委員会を開催し、下記のとおり委員会の意見を取りまとめましたので、別添の審議概要と併せて報告します。

記

1 伊方発電所の使用済燃料乾式貯蔵施設について

使用済燃料乾式貯蔵施設の安全性について、設置許可の基準に適合するとした原子力規制委員会の審査結果は妥当なものと判断するとともに、付言、要望事項として「設置工事などにおける安全確保への取組み」など4項目を取りまとめ、県から四国電力及び国へ要請することを求める。

〔添付：伊方発電所使用済燃料乾式貯蔵施設に関する原子力安全専門部会報告書〕

2 伊方発電所2号機の廃止措置計画について

2号機廃止措置の全体計画及び第1段階の具体的事項に関して、認可の基準に適合しているとした原子力規制委員会の審査結果は妥当なものであると判断するとともに、付言、要望事項として「廃止措置期間中の安全確保」など4項目を取りまとめ、県から四国電力及び国へ要請することを求める。

〔添付：伊方発電所2号機の廃止措置計画に関する原子力安全専門部会報告書〕

伊方原子力発電所環境安全管理委員会の審議概要

【環境専門部会委員】

- 四国電力の解析結果では、乾式貯蔵施設の設置後においても、発電所周辺の空間線量率は基準値を満足するが、施設運用後は、周辺環境への影響をしっかりと確認すること。

【原子力安全専門部会委員】

- 事業者が、規制基準に満足することなく、自主的な活動により可能な限りリスクを低減することが必要であるため、原子力安全専門部会では規制基準に加えて実施すべき対策がないかという観点で議論して、要望事項を取りまとめた。
- 事業者の安全確保への姿勢として重要である安全性向上に向け、積極的・継続的に知見を収集し、安全対策に反映することを要望した。
- 放射線の影響はどんなに低くてもリスクはあるため、線量限度を満たすだけでなく、廃止措置中の従事者や公衆の被ばくを可能な限り低減するよう要望した。
- 廃炉作業は40年間という長い工程であるため、技術や知識を次世代に引き継ぎ、人材を確保しながら、安全に廃炉作業を進めてほしいという想いを込めて、人材の確保・育成について要望した。
- 安全対策への知見反映や廃止措置の進捗状況等については、原子力安全専門部会委員が替わっても、部会としてしっかりと安全性等が確認できるよう、四国電力から少なくとも毎年1回は報告することを要望した。